

<p style="text-align: center;">歴 史Ⅱ （ HistoryⅡ ）</p>	<p style="text-align: center;">3 年・通年・2 単位・必修 機械工学科・電気工学科・情報工学科 担当 上島 智史</p>	
<p style="text-align: center;">〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (1)</p>		
<p>〔講義の目的〕 グローバル化が浸透する現代世界において、地域独自の文化・社会への理解が求められている。文化・社会は、その地域で生きた人間の営みの積み重ねであり、私たちの日常生活の一部として今も生きて続けている。本講義では、世界の歴史を学ぶことを通して、現代社会の成り立ちを理解し、未来への展望を考察することを目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕 歴史の学習において重要なことは、なぜその出来事が起きたのかを歴史的背景を踏まえて考察することである。そのため、各地域の政治、文化、社会、宗教を踏まえるだけでなく、その周辺地域の影響も意識しなければならない。本講義では、現代世界に強い影響を与えているヨーロッパ諸国の歴史を中心に概観しつつ、地域性が形成されていく過程を探っていく。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 講義を良く聞くこと。教科書の内容だけでなく、日々のニュースなどを通して現在の世界情勢をよく把握しておいてほしい。複数の国、地域をとりあげるため、常に講義内容の把握・理解に心がけ、授業後も講義内容の整理をするなど、積極的に参加する姿勢が大切である。</p>		
<p>〔到達目標〕 前期中間試験：先史時代、古代オリエント文明、ギリシャ文明、古代ローマ世界、中国の古典文明、中国の分裂、空前の帝国、中世ヨーロッパ世界① 前期末試験：中世ヨーロッパ世界②、ルネサンスと宗教改革、近代主権国家の成立、中華世界の変容、世界商業の展開、アメリカ独立運動、フランスの革命 後期中間試験：ナポレオンの出現、産業革命、ヨーロッパの市民社会、自由主義・国民主義の進展、ドイツの統一とロシア革命、アメリカ大陸の動向、列強による世界分裂 学年末試験：第一次世界大戦、第一次世界大戦とロシア革命、ベルサイユ体制、民族自決を求めて、世界恐慌とファシズムの台頭、第二次世界大戦、冷戦のはじまり、冷戦の変容とソ連の崩壊</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験（前期中間・前期末・後期中間・後期末）…60% 授業への取り組み（授業態度・提出物・グループ学習での取り組み）…25% 課題レポート（定期試験と同等に評価する）…15%</p>		
<p>〔教科書〕 ・『高校世界史B』山川出版社 〔補助教材・参考書〕 ・『明解世界史図説 エスカリエ 四訂版』帝国書院 ・配布プリント</p>		
<p>〔関連科目〕 「地理」「歴史Ⅰ（日本史）」「政治・経済」と関連が深い。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	先史時代	人類の出現と文明の歩み	
第2週	古代オリエント文明	メソポタミア・エジプト文明の特性	
第3週	ギリシャ世界	ギリシャ文明と民主政のあゆみ	
第4週	古代ローマ世界	共和制・帝政ローマのあゆみ	
第5週	中国の古典文明	中国の古典文明、殷・周の成立、春秋戦国時代	
第6週	中国の分裂	漢の成立、諸民族の侵入と中国の分裂	
第7週	空前の大帝国	宋、モンゴル帝国、元の成立	
第8週	中世ヨーロッパ世界①	ゲルマン人大移動、フランク王国の成立と分裂	
第9週	中世ヨーロッパ世界②	ビザンツ帝国の発展、十字軍の意義について	
第10週	ルネサンスと宗教改革	ルネサンスと宗教改革による社会の変化	
第11週	近代主権国家の成立	大航海時代、近代主権国家の形成過程	
第12週	中華世界の変容	明・清の成立	
第13週	世界商業の展開	重商主義と植民地の形成	
第14週	アメリカの独立運動	新大陸における植民地形成と独立の理念	
第15週	フランスの革命	フランス革命の理念と広がり	
前期末試験			
第16週	ナポレオンの出現	ナポレオンのヨーロッパ支配	
第17週	産業革命	産業革命のはじまりとその社会的影響	
第18週	ヨーロッパ市民社会	ウィーン体制による国際秩序	
第19週	自由主義・国民主義の進展	フランス第二帝政とイタリアの統一	
第20週	ドイツの統一とロシア革命	ロシアの東方拡大、南下政策について	
第21週	アメリカ大陸の動向	19世紀のアメリカと南北戦争について	
第22週	列強による世界分割	帝国主義の成立、世界の分割と抵抗	
第23週	第一次世界大戦	大戦前後の欧米社会、大戦による世界の影響	
第24週	第一次世界大戦とロシア革命	第一次世界大戦の特色、ロシア革命の展開	
第25週	ヴェルサイユ体制	ヴェルサイユ条約とアメリカの繁栄	
第26週	民族自決を求めて	インド・中国における反植民地闘争	
第27週	世界恐慌とファシズムの台頭	大恐慌による世界規模の不況とファシズムの成立	
第28週	第二次世界大戦	第二次世界大戦のはじまりと経過	
第29週	冷戦のはじまり	終戦とその後の国際世界	
第30週	冷戦の変容とソ連の崩壊	米ソ2国間の対立構造の変容	
学年末試験・テスト返却・学力補充期間			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)